第 74 回神奈川県農業協同組合大会決議に基づいた
３か年の事業・活動の実践に向けて

令和３年１１月 25 日に開催した第 74 回神奈川県農業協同組合大会において、向こう３か年（2022～2024 年度）のＪＡグループ神奈川の協同活動の指針を決議し、２つの基本目標と７つの実践事項を定めました。

ＪＡグループ神奈川は、第 29 回ＪＡ全国大会で確認された「ＪＡグループのめざす姿（10 年後）」を共有し、組合員の農業所得向上に向けたこれまでの実践を「不断の自己改革」として継続するとともに、対話等により組合員の評価をＪＡ経営に反映する協同組合らしい運営と総合事業の展開を支える経営基盤を確立し、食・農・地域の持続的な発展をめざします。

実践事項１．農地の維持および新たな就農者の確保対策の強化

農業講座の開講

有害鳥獣対策の実施

実践事項２．営農支援や販売戦略の展開を通じた農業所得向上の実現

農作業受託による負担軽減

生産購買品のコスト削減

実践事項３．持続可能な農業の実現に向けた農政対策および農業理解の促進

食農教育の実施

農業体験の実施

実践事項４．健康で豊かな暮らしを支える事業および協同活動の展開

支店の事業窓口

ＪＡ直売所からこども食堂等への食支援

大会決議の全体像

第 74 回県農協大会決議

食と農と地域の未来を拓く協同組合運動の展開
－持続可能な農業・ＪＡ経営基盤の確立に向けた自己改革の継続－

基本目標Ⅰ：
「かながわ農業と健康で豊かな暮らしを支える事業および活動の展開」

基本目標Ⅱ：
「持続可能な協同組合としての組織基盤・経営基盤の確立と人づくり」

ＪＡグループ神奈川全体の方向性を決定

これを受けて…

各 JA・連合会

中期計画・事業計画等

ＪＡ・連合会の中期計画・事業計画等に反映

実践事項１．組織基盤の維持・活性化と運営参画促進

座談会での意見交換

准組合員を対象とした農園の運営

実践事項２．経営基盤の確立・強化と情報システム活用促進

実践事項３．協同組合としての人づくり・職場づくり

女性組織の学習会

様々な課題にかかる役職員研修会

全文掲載

第 74 回神奈川県農業協同組合大会決議

食と農と地域の未来を拓く協同組合運動の展開
－持続可能な農業・ＪＡ経営基盤の確立に向けた自己改革の継続－

基本目標Ⅰ：
「かながわ農業と健康で豊かな暮らしを支える事業および活動の展開」

実践事項１．農地の維持および新たな就農者の確保対策の強化

各ＪＡが策定する地域農業振興計画等において維持すべき農地面積や担い手数などの将来目標を設定し、農地の維持や新たな就農者の確保対策、有害鳥獣対策の強化を図ります。

個別項目(1)　地域農業振興計画等で維持すべき農地面積や担い手数などの将来目標を設定し、その具体的取り組みを進めます。
(2)　行政等や地域と連携し農地の維持を図ります。
(3)　新たな就農者の確保対策を強化します。
(4)　農業被害と耕作放棄地化の防止を図るため有害鳥獣対策を強化します。

実践事項２．営農支援や販売戦略の展開を通じた農業所得向上の実現

営農支援の充実・強化、実需者ニーズに基づく販売戦略等の展開、生産資材コストの低減、持続可能な農業経営確立に向けた総合的な取り組みの展開とともに、対話等を通じた組合員の意向・評価を把握し、組合員の農業所得向上を実現します。

個別項目(1)　営農支援を充実・強化します。
(2)　実需者ニーズにマッチした販売戦略等の展開と生産組織の機能・活動の充実を図ります。
(3)　生産資材コスト低減対策を充実・普及します。
(4)　持続可能な農業経営を確立します。

実践事項３．持続可能な農業の実現に向けた農政対策および農業理解の促進

持続可能なかながわ農業を支える政策の確立に向けた農政運動の展開や、「食」、「農」およびＪＡに対する地域住民の理解促進を図ります。

個別項目(1)　かながわ農業を支える政策の確立を図ります。
(2)　暮らしを支える「食」と「農」の重要性およびＪＡに関する地域住民の理解促進を図ります。

実践事項４．健康で豊かな暮らしを支える事業および協同活動の展開

健康で豊かな暮らしを支える総合事業を展開するとともに、組合員同士の協同活動や地域の各種組織と連携した地域活性化に取り組みます。

個別項目(1)　健康で豊かな暮らしを支える総合事業を展開します。
(2)　支所店等を拠点として地域に根ざした協同活動を展開します。
(3)　他の協同組合や行政をはじめ地域の各種組織との連携を強め地域の活性化に取り組みます。

＜基本目標Ⅰに関係する SDGs の項目＞

基本目標Ⅱ：
「持続可能な協同組合としての組織基盤・経営基盤の確立と人づくり」

実践事項１．組織基盤の維持・活性化と運営参画促進

組織基盤の維持・活性化に向け、対話をはじめとした組合員の意思反映や組合員後継者・女性の運営参画、准組合員とのつながりを強め、協同組合らしい民主的なＪＡ運営を進めます。

個別項目(1)　組合員組織基盤を維持・活性化し、組合員主体のＪＡ運営を徹底します。
(2)　組合員後継者・女性のＪＡ運営参画を進めます。
(3)　准組合員と農業・ＪＡとのつながりを強めます。

実践事項２．経営基盤の確立・強化と情報システム活用促進

持続可能な経営基盤の確立・強化にかかる実践を進めるとともに、ＪＡ経営の健全性を確保する態勢強化やシステムの活用による業務効率化・利便性向上を図ります。

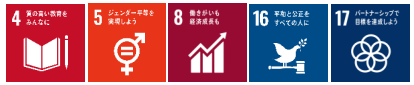
個別項目(1)　目標利益の確保に向けた経営改善施策の実践により持続可能な経営基盤の確立・強化を図ります。
(2)　業務執行体制等の充実・強化に取り組み、ＪＡ経営の健全性確保を図ります。
(3)　デジタル化進展への対応と業務効率化・利便性向上に資する情報システムの活用促進等に取り組みます。

実践事項３．協同組合としての人づくり・職場づくり

協同組合の意義を改めて共有し、組合員学習や役職員研修・教育等を通じた人づくりと働きがいのある職場づくりに取り組みます。

個別項目(1)　協同活動の礎となる組合員学習等を充実します。
(2)　協同の理念を踏まえた役職員研修・教育を強化し、組合員の信頼を高めます。
(3)　適切な人事管理制度の運用など、職員の意欲や能力を活かした働きがいのある職場づくりに取り組みます。

＜基本目標Ⅱに関係する SDGs の項目＞



第 74 回神奈川県農業協同組合大会決議については、
JA グループ神奈川のホームページにも掲載します。

https://www.jakanagawa.gr.jp/

2021.11　ＪＡ神奈川県中央会